

『 発 刊 に 当 た っ て 』



皆さんこんにちは。本紙を手にとっていただきありがとうございます。

私たち「Ynet」は町民活動の活性化、町内ネットワークの拡大・構築を目指し組織された役場職員で構成するグループです。標津町には様々なまちづくりに関係する活動をしている団体や個人の方がいて、実際にお会いしてみると、標津町にはこんなにも味わい深い人たちがいるね、と気づかされました。本紙の表題「sipeto(シペト)」は標津の語源になったとされるアイヌ語「シベツ」と日本語の「人(ト・to)」を掛け合わせた造語で、標津に住む活動的な方々をたくさんの方に知っていただきたく名付けました。

sipetoを通じて人の活動に込められた『想い』に触れて、知って、共感して、共に活動する方が一人でも増えることになればうれしく思います。

Ynet.

— SPECIAL THANKS! —

あかつきダイニング
A マート
川北郵便局
郷土料理武田
ぎんれい精肉店
くるくる2
合田商店

後藤商店書店部
標津漁協直売所
標津郵便局
セイコーマートこんどう標津店
セイコーマート標津まるよし店
セブンイレブン標津町店
大地みらい信用金庫標津支店

ファミリーレストランいしばし
福住
ホーマックニコット
ボンノウシテラス
とんぼ玉 Kukka
アロマセラピー Mammy Crane
Kuni OFFICE

*五十音順・敬称略

— Follow us on Facebook & Instagram & Twitter !!! —

標津町内の情報などを更新!ぜひ検索してみてくださいね。



Facebook



Instagram



Twitter

— INFORMATION —

しべつろーかるふりーペーぱー

sipeto N°13
Autumn 2021

2021 年 9 月 30 日 発行

発行人 Ynet.

発行所 〒086-1632

北海道標津郡標津町北 2 条西 1 丁目 1 番 3 号

標津町役場企画政策課内

TEL.0153-82-2131

FAX.0153-82-3011



●バックナンバーのご希望は上記までご連絡ください

●次回発行は 2022 年 3 月の予定です

しべつろーかるふりーペーぱー

sipeto

Shibetsu Civic Pride Project by Ynet.

CONTENTS

とんぼ玉作りに行ってみた! / アロマ嗅覚診断に行ってみた!

インタビュー 24 滝谷健吾さん、江美さん・25 熊谷田鶴さん / 発刊にあたって / and more

N°13
Autumn
2021

Take Free



Let's Open!!!

REPORT

とんぼ玉作りに行ってみた!



完成品

7月某日、とんぼ玉づくりを体験させてもらいました! 滝谷さんのきれいな柄のとんぼ玉を見た後だったので、こんなにきれいに作れるのか…と初めてのとんぼ玉づくりに緊張していましたが、滝谷さんの優しいフォローもあり、自分が思い描いたものより出来が良いとんぼ玉ができました。楽しく体験ができ、完成品もいただきました。滝谷さんありがとうございました!

作業行程

①まずは土台となるガラスの色を選びます。たくさんあって迷う…。

②土台となるガラス棒をガスバーナーで炙り、徐々に溶かしていきます。この土台のガラスの大きさととんぼ玉の大きさが変わります!

③好みの大きさまでガラスが溶けたら、別の棒に巻き付けていきます。この棒の先端には泥がついていて、巻き付けたガラスが外れやすくなっています。

④いよいよ柄をつけていきます! たくさん色があるなかから選んだガラスを慎重に溶かし土台に付けていきます。

⑤色が乗ったら、このボコボコしたガラスを火の中で回し続けます。そうするときれいな丸になっていきます。

⑥綺麗な丸になったら完成です! きれいなとんぼ玉ができて嬉しい!!

⑥
① ② ③
④ ⑤

REPORT

アロマ体験に行ってみた!



熊谷さんのサロン「マミークレイン」では、マッサージなどのアロマセラピーを受けることができます。今回はメニューのひとつ、「嗅覚反応チェック」を体験!

たとえば同じ揚げ物の匂いでも、お腹が空いている時はおいしそうに、いっぱいの際は脂っこく感じるように、匂いの感じ方で今の心身の状態を知ろうというもの。8種の香りを好きな順に並び替えるだけの簡単チェックです。どれもハーブ系の良い香りではあるのですが…体験した全員が違う結果に! マッサージ前に受けることで、その時にぴったりのオイルを選んでもらうこともできるそうです。今回は最後に今の状態にあったオイルもブレンドしてもらいました!

アロマサークル「アップルミント」

日 時: 毎月第4金曜日の夜

参加費: 500 円 + 材料費

お茶やハーブティを飲みながら、アロマのお勉強をします。マッサージの練習や、化粧水・リップクリーム・虫除けスプレー作りなど。本物のアロマを体験してほしいと内容を考えています。興味のある方はあすばるへご連絡を。

参加者
募集中!

Tonbodama
Kukka

とんぼ玉 Kukka
滝谷 健吾 さん
江美 さん



いつまでも身に付けられる
物を作りたい。

24

―標津町へ移住される前はどちらにいましたか？
健吾) 出身は埼玉県で、大学進学で高知県に行って、それから標津に来ました。
江美) 私は高知県高知市出身です。

―標津町に移住を決めた理由は？迷いはなかったですか？
健吾) 僕が釣りが好きで、学生の頃からこちらによく来ていて、目星を付けてました。ここだと太平洋側にもオホーツク海側にも出ることができるので、色々なところに行くアクセスがいいんです。それが決め手でした。ずっと北海道に住みたいと思っていたのと、いつかは自分の工房を建てることを目標にやっていて、僕の仕事は机一つあれば良いので、住むところは自由なんです。だから、工房は必要だけど、住むところは好きなところに住めばいいということで標津を選択しました。

―とんぼ玉ってどんなものですか？
健吾) 簡単に言うと、鉄の棒にガラスを巻き付けて鉄の棒を抜いたところが穴になるビーズの一種ですね。形も様々で平たいのもあれば、細長いものもありますが、一般的には、丸いものが多いですね。古代ローマ時代からガラスが作られていて、紀元前からとんぼ玉があったと言われているんです。



工房で丁寧に説明をしてくださる健吾さん

―とんぼ玉を作りはじめたきっかけは？
健吾) もともとアクセサリーを作るのが好きで、ビーズ屋さんでアルバイトしていて、そこで働いているうちに自分でも作りたいなって。アメリカが本場で、年に1回のビーズショーに行ったときにトレーラーハウスに機材を積んで町を渡り歩きながらビーズを売って生活する人が結構いて、すごく自由でいいなと思った

んです。日本でもできるんじゃないかと思って本格的に始めました。
江美) ビーズやとんぼ玉の販売をしていると、「これどうやって作るんですか？」とか、自分が作れないから説明するのが難しくて、勉強も兼ねて教えてもらったんです。そこでとんぼ玉と、主人にも出会って(笑)。お客さんからこういうのがほしいって言われたら自分が作って、それをお店に並べて、これで簪やネックレスにしてくださいとか言われるとすごい嬉しいんですよ。販売もしたいけど制作もしたい。結婚もしたし、自分達は作る方にまわろうかってことで、独立というお店から卒業させてもらったのが2008年くらいですね。

―とんぼ玉を作っていて苦労したことや良かったことは？
健吾) 高知で作っているときは暑くて。クーラーつけててもガスを使うので喚起のために窓を開けるじゃないですか。室温が40度近くになって何度も熱中症になりかけましたね。標津は年間を通して涼しい。海風が来るとすごく涼しいので、ここに来てだいぶ助かってますね。良かったことは、自分はお店を出しているわけではないので、時間が自由に使えるんです。日中子供の世話をして寝静まってから作業するとか。子育てにかかわる時間は増えましたね。

―工房の『Kukka』の由来は？
江美) 私が友達とフリーマーケットでお店を出すための屋号を考えてた時に、友達の家にフィンランド語の辞書があって、自分がお花柄のとんぼ玉を作っていたので、花をフィンランド語で調べたら『Kukka』だったんです。文字の並びもかわいいし、呼びやすいし、屋号にしようって。その延長で今も使っています。
健吾) 僕らはフィンランドには縁も何もないです。(笑)
江美) 行ったことはないけど、お花みたいに人を飾る玉を作りたいということで、『Kukka』と付けました。

―とんぼ玉は商品として作って販売しているんですか？
江美) 玉売りはしてなくて、組み上げて商品として売っています。カタログをバイヤーさんに渡して、注文でネックレスが入ったら組み上げて、それを卸す感じです。
健吾) 同じものを作る作家さんって少ないんですよ。
江美) カatalogと同じものがないと次も頼んでもらえないので、2人で考えて、これだったら同じものができる

よねっていう。
健吾) もう1回作ったら違うものになってしまったこともあって苦労しましたね。



インタビュー時の様子

―今後やってみたいことは？
健吾) アイヌ玉と呼ばれているものがあるって、そのレプリカを作ってみたいですね。東京が大阪で作ってそれを商人が北海道に持ってきてアイヌの人達が買っていたというものなんですけど、割と大きくて単色のものが多い。色はやっぱり青が多いのかな。古い物の模様を真似て作っても面白いかな。
江美) 体験教室をやってみたいです。コロナが流行る前は、アイヌ文化教室やポー川縄文祭りにも呼んでもらったり、標津高校のボランティア部にとんぼ玉の作り方を教えて、できた商品をチャリティー販売したり、楽しかったんですね。ビーズって玉が割れない限りはずっと使えるので、最初はキーホルダーだったけどお姉さんになったらネックレスにしてみるかと、ずっと使ってくれる人が多くて。紐がダメになったから取り替えてくれないかと声をかけてもらったりすると、ガラスはずっと残るものなので、教えて良かったなと思います。子供がまだ小さいので、体験教室や工房見学はしばらくはお断りしているのですが、いつかやってみたいですね。

とんぼ玉 Kukka

まずは HP をチェックしてみてください！

標津町字標津 1326-237

0153-82-3899

CHECK ! ▶



Tazuru
Kumagai

アロマセラピーマミークレイン
熊谷 田鶴 さん



手作りや発見を楽しみたい。

25

―どのようなご縁で標津に？
愛媛県松山市から来て、40年くらい。主人も標津の人でなく外国航路の船のエンジニアで、私は船の看護師。主人のお兄さんから誘われて、すぐ帰るつもりで標津に来たんです。住んでみたらここは看護師さんが足りないってということで、標津病院に就職しました。でもすぐに子どもができて辞めて、その頃には主人は工場を始めて、そうこうしていたら2人目ができたりしたので、結局居付く羽目になって(笑)それ以来ずっとですね。

―アロマとの出会いは？
子どもが高校生になる頃に訪問看護ステーションに就職したんですけど、色々なストレスがあったり、甲状腺癌にもなったりして。その頃に助産婦会の勧めで、釧路の川内先生を講師に招いたアロマ講座に行って、釧路までアロマを受けに行くようになって、そうしたら、めちゃめちゃ癒されたんですよ。

―自分ですごく効果を感じたんですね
そうそう。アロマって最初はおまじないみたいなイメージじゃなかったけど、勉強してみるとそんなにじゃなくて、こんな素敵ないいものがあったんだな一って思ったんです。仕事をしながら夜に釧路の教室に通って、アロマのセラピストとか、コーディネーター、ハンドリラクスの資格を取りました。その頃役場では川内先生を呼んでアロマ講座をやっていたんですが、先生に勉強になるから自分でやってみたらいいよと後押ししてもらいました。やってみたらすごく好評で、またやりたいとあちこち呼んでくれて。自分でも勉強になるから一生懸命続けていたら、町でもキラリ大学の講座になって。サロンはいつもの人が来てくれるけれど、色んな人にアロマに出会ってもらえる講座はやらせてもらいたいと思ってます。特に年配の人はアロマって胡散臭いみたいに思う方も多くて、アロマが何かというのは知られてないから是非体験してもらいたいですね。

―今はどのような活動を？
サロンや講座の他に、アロマサークルも活動しています。サロンを始めてしばらくは、一生懸命アロマアロマってやっていたけど、そもそも自分が受けた

くて始めたのに、違うよねと思って。その頃に講座に参加してくれた人の中でサークルを立ち上げてくれたんです。何か作るの好きだから、サークルでは主にそういうアロマのお勉強をしています。今は男の人も入ってるし、別海とか中標津からも来てくれています。それでももうちょっと募集しないかね。明日ははまなす化粧水を作るんですよ。



興味津々に香りを楽しむ取材班

―すごい！いい香り！
これは発酵化粧水って言って、はまなすを水に入れて冷蔵庫に入れて、その後ちょっと蓋を緩めておくと色が出てくるんです。そのままで使えるけど、防腐のアルコールとかビタミン剤とかを足して、とろみもつけて完成。せっかく標津でははまなすがいっぱい咲いてるから、ジャムとかお菓子とか作ってみればいいのにもったいないな、私も自分で精油をとれないかなと思って。精油、アロマオイルは花びらを蒸して、上がった蒸気を冷やした蒸留水の上澄みなんですけど、7キロの花びらで1滴しか取れないんです。そうすると一人で摘むくらいのはまなすじゃ1滴も取れないんだけど、このはまなすを蒸した水の方だけでも、すごく香りいいでしょ。安いアロマオイルとは違う本物の香りを知ってほしいなと思っています。今はこの化粧水を成功させたいし、皆がそういうので楽しんでくれたら嬉しいですね。

―他に感じる標津の魅力は？
自然豊かで暮らしやすいですよ。鶏飼ったり犬飼ったり畑したり、色々できて楽しいです。最初は水道も引かないで井戸掘ったりと田舎暮らしだったけど、今は近代的になってきて。歩いてスーパーに行けるし。あとは色んな人が移住してきて、色んなことやっているので、そういう人達とも交流したいですね。

―消防団やお祭りの委員などにも参加して、すっかり標津になじんでいらっしゃいます。
いやいや、来た時は知らない人ばかりで(笑)よそもので仕事始めて、よくこんな所で始めたねっていまだに言われることはありますよ。でも標津の人はすごくいいなと思います。消防団はもう20年くらい前、女性消防団ができる時に頼まれて入って、年上だからって班長になって。最初の頃はてんでばらばらだったけど、救急の訓練したり、皆で盆踊りに出たりして、今ではすごくまとまっていますね。私は来年の3月で引退なので、しっかり引き継いでやめます！水キラリはお祭りが始まる前、「祭りをやるう会」っていうのができる時に、外から来た人の目で見えてって推薦されて。そこで劇団キラリの団長になって、辞められなくなって(笑)。本当は若い人にどんどんやってもらいたい。元はあるから、あとは自由にね。アロマは自分が始めたことだけど、あとは頼まれて始めたことも多いですね。他にも色々頼まれたけど、お断りして減らして行きます。いっぱい若い人も出てきているし、地域のことどんどん引き継いでやってほしいですね。その後押しならなんぼでもしようって思います。

―今後はアロマの方に力を入れる？
お仕事として人にマッサージをするだけじゃなく、何か作ったり発見をしたり、はまなす化粧水とかね。そんなことで時間を使いたいですね。

マミークレイン

熊谷さんのアロマセラピーサロン。アロママッサージや「いってみた」でも紹介している臭覚反応チェックを受けることができます。完全予約制なので、事前のご連絡を！

標津町南8条西1丁目

4-9 熊谷工業奥

090-1526-5575

CHECK ! ▶

